

2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	数学	科目	探究数学	単位数	5	学年	3	コース	教養フロンティア (自然系)
								必修・選択	選択(F群)
使用教材	教科書	(学校設定科目につきなし)							
	副教材	改訂版 リンク数学演習 I・A 受験編 a+b+c (数研出版)							

学習目標

大学センター試験レベルに対応できる力をつけることを第一目標とする。また、私立一般・看護医療系専門学校入試に対応できるような学力を身に付ける。
難しい問題に対しても、粘り強くあきらめずに取り組む姿勢を身に付ける。

学習方法

1. 予習として、テキストの問題を一通り解き、自分が理解できない部分を明確にする。必要ならば、教科書や参考書を見ながら問題を自力で解く。
2. 授業では、毎回担当を決め、板書・発表する。また、予習時に分からなかった部分を友達や教師の解説を聞いて、理解する。
3. 反転学習を取り入れ、協働学習を通して深い理解を目指す。

学習評価

〇次の四つの観点に基づき、学習内容のまとまりごとに下の評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。

①関心・意欲・態度	自ら設定した進路目標を実現するために、意欲的かつ前向きに学習に向き合っている。
②思考・判断・表現	授業で学習したスキルを様々な問題に応用し、思考を通して適切な解法を導き、正確に答案へ記述することができる。
③技能	素早く正確にミスなく、計算することができる。
④知識・理解	学習内容を用いて、解を求めることができる。

評価方法\観点	評価の観点				備考
	①	②	③	④	
演習問題への取り組み	○	◎	◎	○	予習状況確認、机間巡視
提出物	◎	◎	◎	○	問題集の取り組みを評価
発表	◎	◎	○	○	発表に対する姿勢を評価
定期考査	○	◎	◎	◎	
自己評価	◎				授業アンケート

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです
※それぞれの評価の観点はA、B、Cの三段階で評価します。

学習方法等のアドバイスなど

まず、標準レベルに対応できるような基礎学力を身に着けるため、家庭での事前の予習が必要です。また、授業での演習、解説を意識し、家庭で何度も繰り返し問題を解くことを強く勧めます。

年間学習計画

学期 時間数	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1学期 55単位時間	approach 1 数と式 2 集合と命題 3 2次関数 4 図形と計量 5 データの分析 6 場合の数と確率 7 図形の性質 basic 1 数と式 2 集合と命題 3 2次関数	・教科書例題程度の問題演習を通じて、数学Ⅰ・Aの総復習をし、入試突破に向けた自己課題を発見する。 ・授業での発表を通して、答案作成能力を身に着ける。 ・教科書応用例題の演習を通じて、問題読解力につなげる。	学習活動: ①学習内容を確認する。 ②授業内で各自、演習問題を解く。 ③授業内で発表する。 ④必要に応じ、教師が助言する。 ※時々、学習内容を生徒自ら解説してもらいます。その際は、予習をして学習内容を理解して仲間に伝えられるよう準備してください。 評価方法: 演習問題への取り組みや発表の姿勢から、 ①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現 の観点を中心に評価する。提出する問題集の取り組み状況も参考にする。 また、定期考査より ③技能 ④知識・理解 の観点を中心に評価する。
2学期 75単位時間	basic 4 図形と計量 5 データの分析 6 場合の数と確率 7 図形の性質 challenge 1 数と式 2 集合と命題 3 2次関数 4 図形と計量	・教科書応用例題の演習を通じて、問題読解力につなげる。 ・授業での発表を通して、答案作成能力を身に着ける。 ・入試の基本問題程度の演習を通じて、基礎学力を入試問題につなげる。	
3学期 45単位時間	challenge 5 データの分析 6 場合の数と確率 7 図形の性質	・入試の基本問題程度の演習を通じて、基礎学力を入試問題につなげる。 ・授業での発表を通して、答案作成能力を身に着ける。 ・数学を入試で利用する生徒は、合格ライン到達をねらいとする。	